

北栄町国民健康保険 健康づくり事業実施計画 (第2期)

データヘルス計画



大栄西瓜マスコットキャラクター
夏味ちゃん

平成31(2019)年3月

もくじ

1 計画策定の背景と目的	・・・P1
① 計画策定の背景と目的	・・・P1
② データヘルス計画の位置づけ	・・・P1
③ 計画の期間	・・・P1
④ データヘルス計画の目標	・・・P2
2 北栄町のすがた（データ編）	・・・P3
《表1》 北栄町の人口構成等（平成29年度）	・・・P3
《表2》 国保被保険者の構成（平成29年度）	・・・P4
《表3》 生活習慣病に起因するとみられる医療費点数 （平成27～29年度）	・・・P5
【参考】 北栄町 がん標準化罹患比（平成17～26年度）	・・・P6
《表4》 特定健診受診率の推移（平成27～29年度）	・・・P7
《表5》 特定健診年齢別受診率（平成29年度）	・・・P7
《表6》 特定健診未受診者のアンケート結果（平成26年度実施）	・・・P8
《表7》 特定健診における質問表回答の状況（平成29年度）	・・・P9
《表8-1》 健診有所見者の割合（平成27～29年度）	・・・P10
《表8-2》 年代別・性別健診有所見者の割合（平成29年度）	・・・P10
《表8-3》 特定保健指導対象者数と実施状況 （平成27～29年度）	・・・P11
《表9》 がん検診受診率の推移（平成25～29年度）	・・・P12
《表10》 死因の状況（平成29年度）	・・・P12
《表11》 介護保険における要介護・要支援認定者の疾病別有病状況 （平成29年度）	・・・P13
《表12》 北栄町国保1人あたりの医療費等（平成26～29年度）	・・・P13

3 北栄町の抱える健康課題	・ ・ ・ P14
4 健康課題解決に向けた取組み	・ ・ ・ P15
(1) 特定保健指導を中心とした高血圧・糖尿病対策	・ ・ ・ P15
(2) 糖尿病重症化対策	・ ・ ・ P18
(3) 特定健診・がん検診受診率向上	・ ・ ・ P20
(4) 地域と連携した健康づくり事業の推進	・ ・ ・ P23
5 その他	・ ・ ・ P25
① 内容の見直し	・ ・ ・ P25
② 計画の公表・周知	・ ・ ・ P25
③ 個人情報保護	・ ・ ・ P25
④ 計画推進体制	・ ・ ・ P25

1 計画策定の背景と目的

① 計画策定の背景と目的

平成 25 年 6 月 14 日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「国民の健康寿命(※)の延伸」という観点から予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりとして、全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表・事業実施・評価等の取組みを求められ、市町村国保についても同様の取組みを行うことが推進されました。

本町においても、特定健診の実施や診療報酬明細書等の電子化の進展、国保データシステム等の整備により、健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んできており、このような基盤整備を背景に、今後は被保険者のさらなる健康保持増進に努めるため、町の抱えている健康課題に即した保健事業を進めていくことが求められています。

このことから、国保データベースシステム（KDB システム）等の保有データを活用し、本町の抱える健康課題を抽出し、その課題の改善・解決に向けて優先的に実施する健康事業を規定した、「北栄町国民健康保険健康づくり実施計画（データヘルス計画）」（以下「データヘルス計画」という。）を平成 29 年 3 月に策定しました。

この度、この計画の期間が満了となる為、最終評価を行うとともに、生活習慣病予防対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病の発症や重症化予防等の保険事業の実施や評価を行うことを目的として、新たな実施計画を策定することとなりました。

※健康寿命…健康上の問題が無い状態で、制限されることなく日常生活を過ごせる期間

② データヘルス計画の位置づけ

データヘルス計画とは、レセプト・健診情報等のデータ分析に基づいて、保健事業をPDCAサイクルで効果的・効率的に実施するための事業計画のことです。

この計画の策定にあたっては、『健康ほくえい計画』、『特定健康診査等実施計画（第三期）』（以下「実施計画」という。）等の関連計画との整合性がとれるように留意します。

③ 計画の期間

この計画の期間は、平成 31 (2019) 年度から平成 35 (2023) 年度までの 5 年間とします。

④ データヘルス計画の目標



長期目標

ほとんどの人が特定健診やがん検診を受け、必要な人が早期に治療や保健指導を受けられるようになることで、健康寿命が延びる。



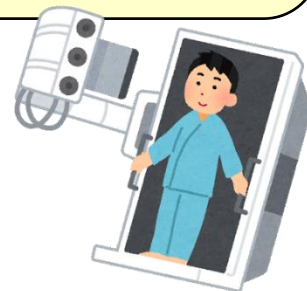
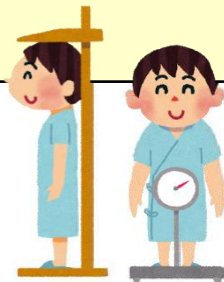
中間目標

特定健診を受けた人が、自分の健康について若いうちから関心をもち、食生活や運動習慣の改善に取り組む。



短期目標

特定健診・がん検診の受診者数が増える。

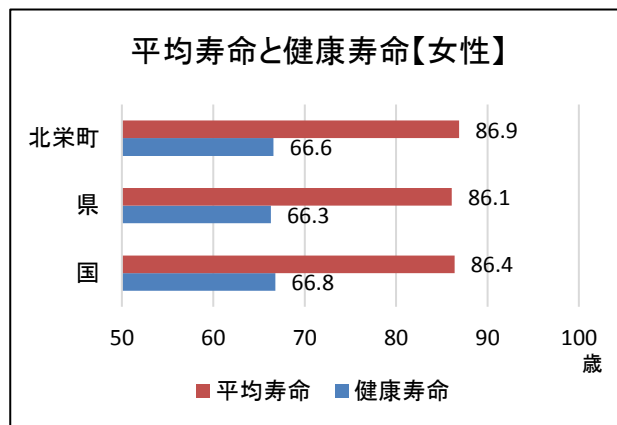
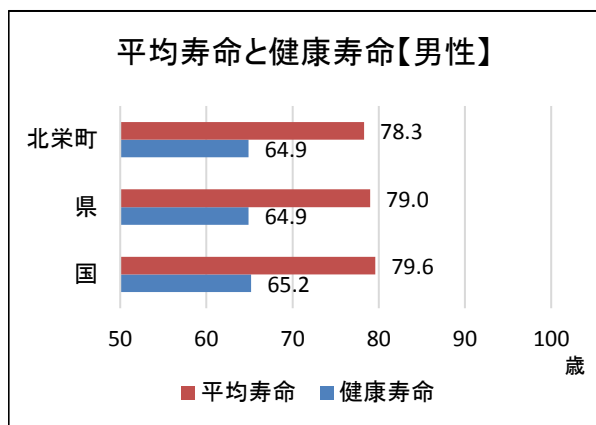


2 北栄町のすがた（データ編）

《表 1》 北栄町の人口構成等（平成 29 年度）

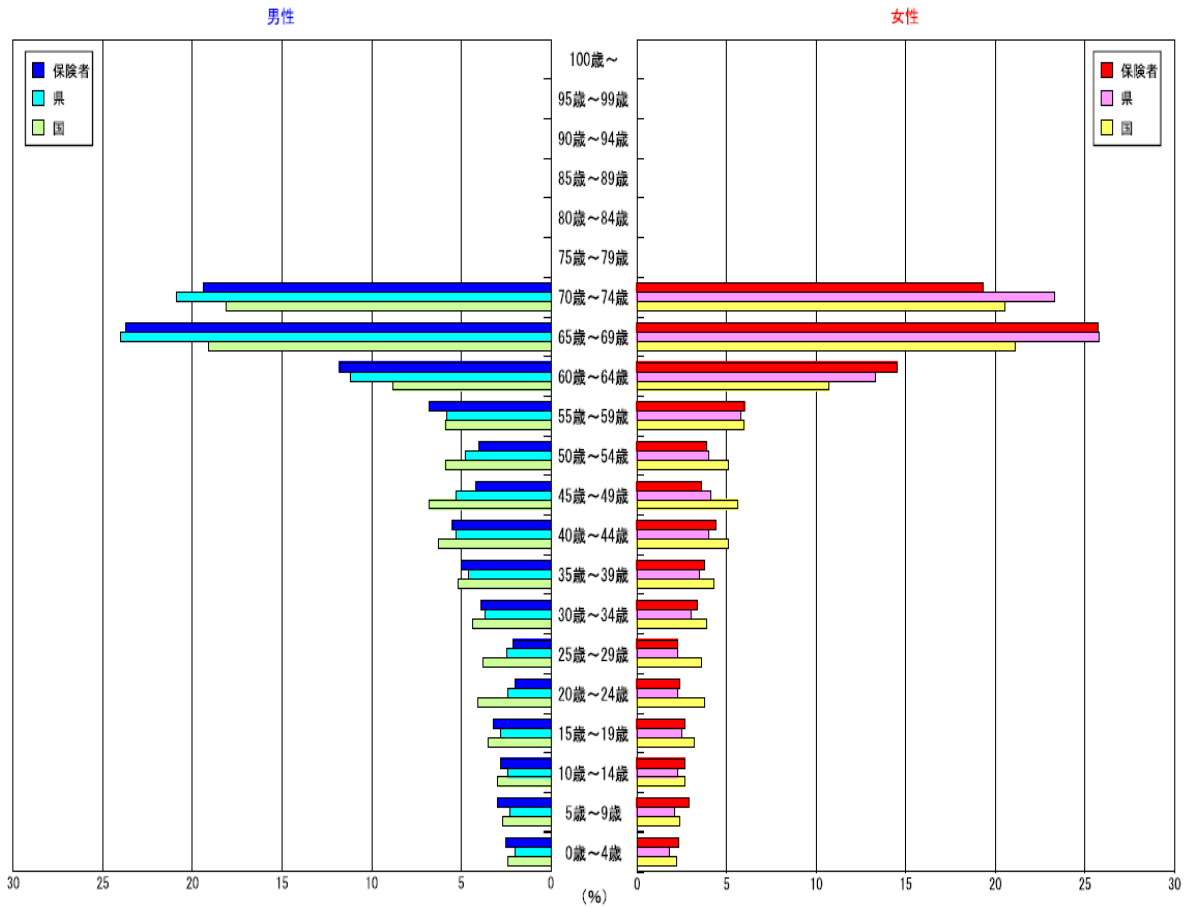
	人口総数 (人)	65 歳以上 人口 (人)	高齢化率 (%)	国保 被保険者数 (人)	国保 加入率 (%)	平均寿命 (歳)	健康寿命 (歳)
北栄町	14,820	4,598	31.0	4,353	29.4	男 78.3 女 86.9	男 64.9 女 66.6
県	569,078	169,092	29.7	125,821	22.1	男 79.0 女 86.1	男 64.9 女 66.3
国	125,640,987	33,465,441	26.6	31,587,591	25.6	男 79.6 女 86.4	男 65.2 女 66.8

※ KDB（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）より



※ KDB（地域の全体像の把握）より

《表 2》 国保被保険者の構成（平成 29 年度）



※ KDB(地域の全体像の把握)より

北栄町の国民健康保険被保険者は全人口の約 30%で、県や国と比較すると高い割合にある。

前期高齢者（65歳以上 75歳未満）の被保険者の割合が高く、被保険者の高齢化がみられる。

《表 3》 生活習慣病に起因するとみられる医療費点数（平成 27～29 年度）

【外来】

（単位：点）

平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
北栄町		北栄町		北栄町	同規模
糖尿病	7,589,841	がん	9,038,376	がん	9,737,935
高血圧症	7,456,260	糖尿病	7,109,439	糖尿病	7,918,267
がん	7,318,358	高血圧症	6,601,468	筋・骨格	7,752,788
筋・骨格	6,190,987	筋・骨格	6,179,615	高血圧症	6,819,012
精神	4,372,168	精神	4,637,332	精神	4,605,402
脂質異常症	3,752,873	脂質異常症	3,463,918	脂質異常症	4,185,299
脳梗塞	667,853	脳梗塞	508,197	狭心症	768,589
狭心症	523,912	狭心症	443,709	脳梗塞	556,693
脂肪肝	202,252	脂肪肝	199,970	脂肪肝	126,585
動脈硬化症	197,108	動脈硬化症	175,190	動脈硬化症	120,884

【入院】

（単位：点）

平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
北栄町		北栄町		北栄町	同規模
がん	13,875,433	がん	11,634,710	がん	11,628,888
精神	6,178,340	精神	6,192,562	精神	10,493,826
筋・骨格	5,304,032	筋・骨格	5,156,288	筋・骨格	5,429,014
脳梗塞	2,169,134	脳梗塞	2,540,349	脳梗塞	1,826,194
脳出血	1,307,309	糖尿病	1,216,214	脳出血	917,859
狭心症	877,274	脳出血	928,826	糖尿病	705,210
糖尿病	710,290	狭心症	488,304	狭心症	1,505,393
高血圧症	504,855	高血圧症	385,868	高血圧症	199,934
動脈硬化症	134,872	脂肪肝	72,476	心筋梗塞	490,593
脂肪肝	88,981	心筋梗塞	67,951	脂質異常症	55,860

※ KDB（医療費分析（1）細小分類）より

※ 高い順、最大医療資源傷病名による

外来では、過去 3 年間とも「高血圧」「糖尿病」「がん」が上位となっている。
同規模市町村と比較するとそこまで多い点数ではないが、「がん」の医療費点数の増加が見られる。

入院では、「がん」「糖尿病」の点数が同規模市町村より高い傾向にある。

【参考】北栄町 がん標準化罹患比(※) (H17~H26)

		男	女
全部位	標準化罹患比	111.5	118.6
	上限	120.1	128.8
	下限	103.5	109.0
胃	標準化罹患比	115.0	124.4
	上限	120.1	156.1
	下限	96.6	97.6
結腸	標準化罹患比	116.4	115.7
	上限	147.3	147.8
	下限	90.6	89.1
直腸	標準化罹患比	124.3	47.9
	上限	166.3	71.8
	下限	90.6	30.3
大腸	標準化罹患比	119.4	113.8
	上限	143.4	140.4
	下限	98.5	91.2
肝臓	標準化罹患比	111.5	100.7
	上限	148.8	151.1
	下限	81.7	63.8
肺	標準化罹患比	107.4	126.3
	上限	129.6	162.3
	下限	88.1	96.6
乳房	標準化罹患比		99.0
	上限		122.4
	下限		79.1
子宮	標準化罹患比		143.1
	上限		193.4
	下限		103.1
前立腺	標準化罹患比	64.7	
	上限	84.2	
	下限	48.7	

※標準化罹患比 (SIR)

年齢構成の異なる集団で、罹患の状況を比較できるようにした指標で、対象とする集団の罹患が、基準となる集団と比べてどのくらい高いかを示す比のことです。

ここでは国を基準（標準化罹患比=100）として、数値が100より大きいところは、国と比べて北栄町の罹患が多く、100より小さい場合は国より少ないことを意味します。

H17~H26 の北栄町のがん標準化罹患比について、全部位をみると男女とも全国平均より罹患率が高い。男女別にみると、女性の子宮がんは罹患率が高く、男性の前立腺がん、女性直腸がんは罹患率が低かった。

【判定区分と結果】

判定区分	結果
標準化罹患比 > 100 かつ 下限値 > 100	有意に高い(*)
標準化罹患比 > 100 かつ 下限値 ≤ 100	高いが有意でない
標準化罹患比 < 100 かつ 上限値 ≥ 100	低い有意でない
標準化罹患比 < 100 かつ 上限値 < 100	有意に低い(*)

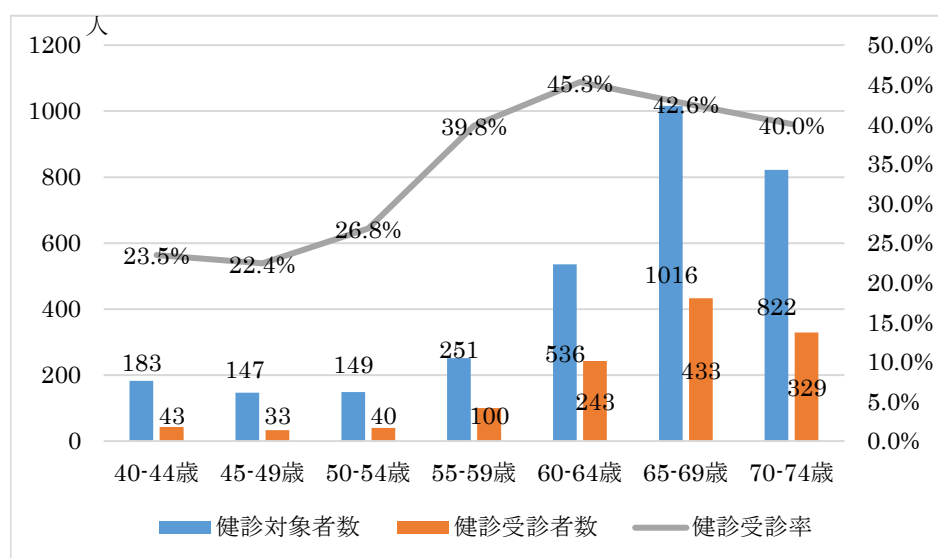
*有意に高い(低い)：偶然的な誤差の影響を考慮しても、標準化罹患比が国に比べて十分に高い(低い)と考えられること。

《表 4》 特定健診受診率の推移（平成 27～29 年度）

	男 性									
	40-64 歳			65-74 歳			合 計			
	受診者	対象者	受診率	受診者	対象者	受診率	受診者	対象者	受診率	
平成 27 年度	220	762	28.9%	336	869	38.7%	556	1,631	34.1%	
平成 28 年度	210	717	29.3%	330	877	37.6%	540	1,594	33.9%	
平成 29 年度	192	641	30.0%	363	912	39.8%	555	1,553	35.7%	
	女 性									
	40-64 歳			65-74 歳			合 計			
	受診者	対象者	受診率	受診者	対象者	受診率	受診者	対象者	受診率	
平成 27 年度	285	738	38.6%	379	892	42.5%	664	1,630	40.7%	
平成 28 年度	270	681	39.6%	373	909	41.0%	643	1,590	40.4%	
平成 29 年度	267	625	42.7%	399	926	43.1%	666	1,551	42.9%	
	合 計									
	40-64 歳			65-74 歳			合 計			法定 報告
	受診者	対象者	受診率	受診者	対象者	受診率	受診者	対象者	受診率	
平成 27 年度	505	1,500	33.7%	715	1,761	40.6%	1,220	3,261	37.4%	37.3%
平成 28 年度	480	1,398	34.3%	703	1,786	39.4%	1,183	3,184	37.2%	37.0%
平成 29 年度	459	1,266	36.3%	762	1,838	41.5%	1,221	3,104	39.3%	39.3%

※ KDB（健診受診状況）より

《表 5》 特定健診年齢別受診率（平成 29 年度）



受診率は概ね増加傾向にあり、実施計画において平成 30 年度時点で目標としている受診率（40%）には到達する見込みである。

女性に比べて男性の受診率が低く、特に若い男性の受診率は低い状況が続いている。

《表 6》 特定健診未受診者のアンケート結果（平成 26 年度実施）

特定健診未受診者対象アンケート集計結果			
1	アンケート実施人数	1,468	
2	回答件数	375	
3	回収率	25.54%	
4	回答者性別	男	181
		女	190
5	回答平均年齢	65.4	
6	回答内容		

回答年齢内訳				
	年齢別			全回答者に占める割合
	送付人数	回答人数	回答率	
40代	119	17	14.3%	4.6%
50代	254	42	16.5%	11.5%
60代	676	174	25.7%	47.4%
70代	419	122	29.1%	33.2%
未回答		12		3.3%

問1	特定健診を受けなかったと回答された方にお聞きします。そのときに受けなかった理由は何でしたか？（複数回答可）	全体		職業別			
		回答	%	自営業（43）		農業（97）	
	質問	回答	%	回答	%	回答	%
	健康だから又は健康に自信があるから。	26	6.9%	4	9.3%	6	6.2%
	仕事などで忙しく時間がなかったから。	57	15.2%	13	30.2%	12	12.4%
	健診をうけて異常が見つかるのがいやだったから。	19	5.1%	3	7.0%	8	8.2%
	普段から病院に通っているから。	231	61.6%	20	46.5%	66	68.0%
	健診をうけなくても悪いところがあるのを知っているから。	36	9.6%	6	14.0%	7	7.2%
	会社など他の健康診断を受けているから。	45	12.0%	5	11.6%	8	8.2%
	行きたいとは思っていたがきっかけがなかった。	6	1.6%	3	7.0%	6	6.2%
	特定健診を受けることができる医療機関に自分が希望するところがないから。	6	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
	健診についてよくわからなかった。	4	1.1%	0	0.0%	1	1.0%
	その他	99	26.4%				

問2 健診を受けやすい時期と時間帯はいつですか？					
時期	回答	%	時間帯	回答	%
1月～3月	48	12.8%	午前	117	31.2%
4月～6月	52	13.9%	午後	39	10.4%
7月～9月	30	8.0%			
10月～12月	54	14.4%			

問3 どのような健診なら受けてみたいと思いますか？（複数回答可）			
質問	回答	%	
ほかの検診（がん検診など）と併せて	66	17.6%	
なにかのイベントに併せての健診	66	17.6%	
日曜、休日健診	11	2.9%	
買い物ついでに受けられる健診	42	11.2%	
無料の健診	89	23.7%	
特典（なにかがもらえる）がある。	14	3.7%	
その他	42	11.2%	

平成 26 年度に実施した特定健診未受診者へのアンケート結果によると、特定健診を受けなかった理由として最も多かったのは、「普段から病院に通っているから」で、全体の約 62% を占めた。

《表7》 特定健診における質問票回答の状況（平成29年度）

	北栄町	県	同規模	国	【参考】 H29 北栄町 町民アンケート結果 ※19歳以上全町民対象
喫煙	11.5%	11.1%	14.1%	14.1%	14.3%
1回30分以上の 運動習慣なし	68.3%	65.0%	63.8%	59.5%	65.3%
1日1時間以上 運動なし	72.8%	66.3%	48.6%	47.7%	—
飲酒頻度					
毎日	33.4%	26.7%	25.5%	25.7%	17.9%
時々	14.2%	18.7%	20.3%	22.2%	29.6%
飲まない	52.4%	54.6%	54.2%	52.2%	52.6%
1日飲酒量					
1合未満	70.9%	68.3%	61.7%	63.9%	47.6%
1～2合	17.7%	21.4%	25.3%	24.0%	35.3%
2～3合	8.9%	8.0%	10.1%	9.4%	12.8%
3合以上	2.5%	2.2%	2.9%	2.8%	4.3%

※ KDB(地域の全体像の把握)より

健診時の問診の内容からは、運動習慣のある人が県や同規模市町村と比較して少ないことがわかる。

また、飲酒の頻度を「毎日」と回答した方の割合が、高い傾向にある。

《表 8-1》 健診有所見者の割合（平成 27～29 年度）

【腹囲】 男性 85cm 以上、女性 90cm 以上

	該当者	町	県	国
平成 27 年度	324 人	26.6%	29.1%	30.9%
平成 28 年度	311 人	26.3%	29.9%	31.5%
平成 29 年度	376 人	30.8%	30.5%	32.2%

【血糖】 HbA1c が 5.6% 以上

	該当者	町	県	国
平成 27 年度	556 人	45.6%	37.6%	54.5%
平成 28 年度	563 人	47.6%	38.5%	55.5%
平成 29 年度	583 人	47.7%	40.6%	56.7%

【血圧】 収縮期血圧 130mmHg 以上 または 拡張期血圧 85mmHg 以上

	収縮期血圧				拡張期血圧			
	該当者	町	県	国	該当者	町	県	国
平成 27 年度	634 人	52.0%	51.9%	45.9%	251 人	20.9%	19.7%	18.8%
平成 28 年度	603 人	51.0%	51.7%	45.6%	239 人	20.2%	19.9%	18.6%
平成 29 年度	679 人	55.6%	52.7%	45.8%	301 人	24.7%	21.0%	18.9%

【脂質】 中性脂肪 150mg/dl 以上 または HDL コレステロール 40mg/dl 未満

	中性脂肪				HDL コレステロール			
	該当者	町	県	国	該当者	町	県	国
平成 27 年度	243 人	19.9%	18.9%	21.1%	30 人	2.5%	4.3%	4.8%
平成 28 年度	229 人	19.4%	18.8%	21.4%	46 人	3.9%	4.3%	4.8%
平成 29 年度	237 人	19.4%	19.7%	21.7%	50 人	4.1%	4.2%	4.6%

《表 8-2》 年代別・性別健診有所見者の割合（平成 29 年度）

	受診者数	腹囲	血糖 (HbA1c)	血圧 (収縮期)	脂質 (中性脂肪)
40-49 歳男性	39 人	35.9%	35.9%	33.3%	23.1%
女性	37 人	13.5%	21.6%	13.5%	8.1%
50-59 歳男性	57 人	49.1%	33.3%	54.4%	29.8%
女性	83 人	15.7%	38.6%	38.6%	12.0%
60-69 歳男性	297 人	45.5%	49.5%	67.3%	23.9%
女性	379 人	18.7%	52.5%	52.8%	15.8%
70-74 歳男性	162 人	48.8%	53.1%	64.8%	22.8%
女性	167 人	18.6%	46.7%	55.7%	18.0%

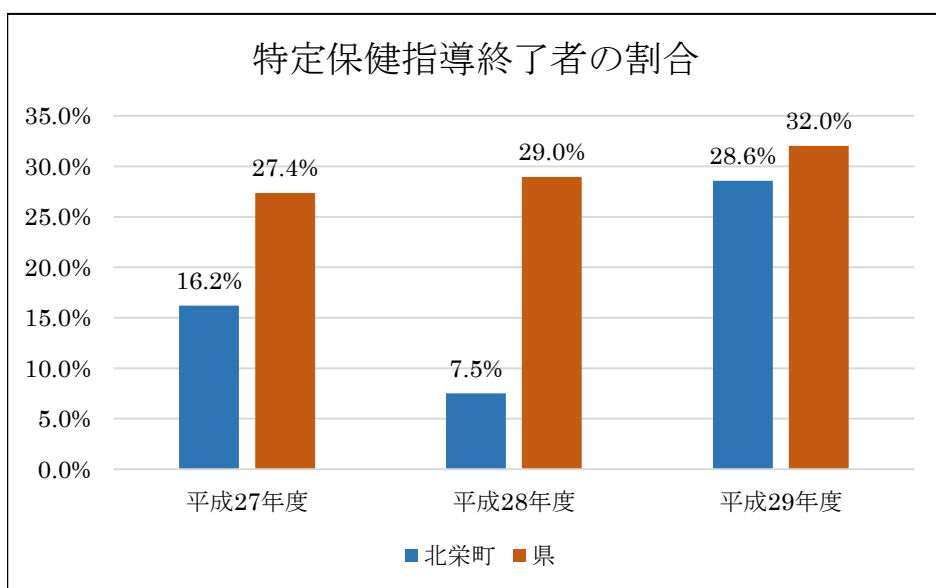
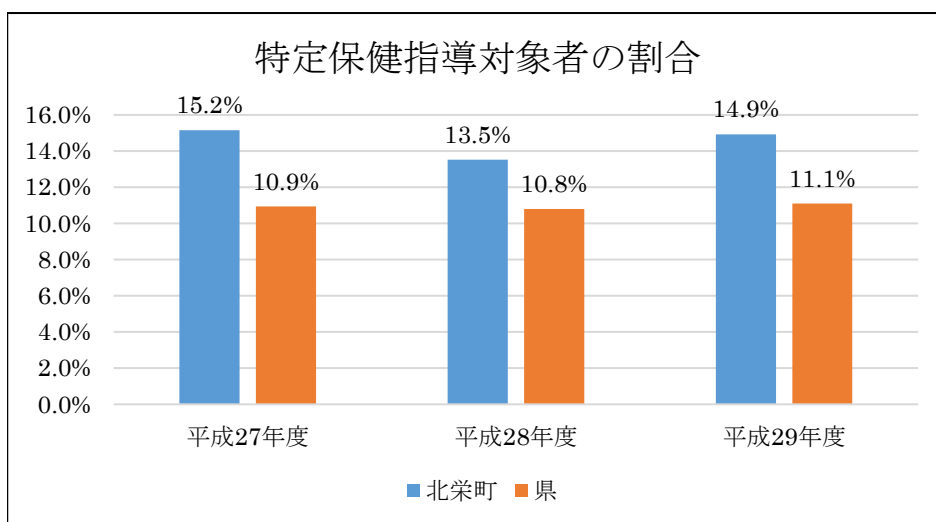
※ KDB(様式 5-2 健診有所見者状況)より

特定健診結果から、血圧の有所見者は県や国を上回り、50%以上の方が基準値から外れている。年代別・性別にみても、血圧の基準値を超える人の割合は年齢が上がるにつれ、高くなっている。

男性は、女性に比べ有所見者の割合が高い。

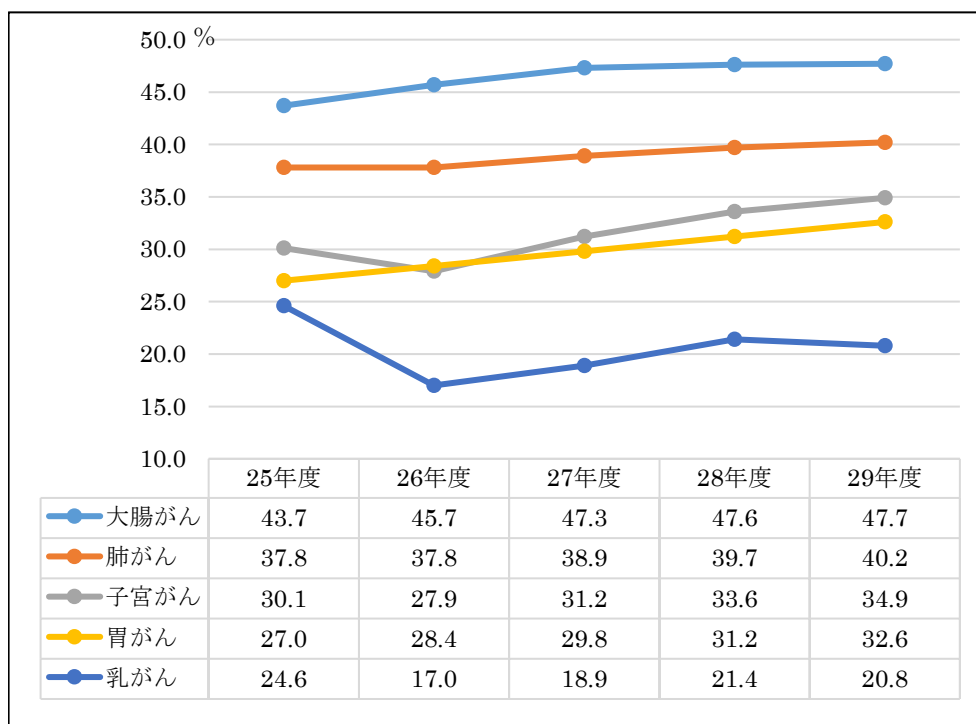
《表 8-3》 特定保健指導対象者数と実施状況

		特定健診 受診者数	特定保健指導 対象者数		特定保健指導 終了者数	
				割合 (%)		割合 (%)
平成27年度	北栄町	1,221	185	15.2%	30	16.2%
	県	30,600	3,346	10.9%	916	27.4%
平成28年度	北栄町	1,183	160	13.5%	12	7.5%
	県	29,554	3,194	10.8%	925	29.0%
平成29年度	北栄町	1,220	182	14.9%	52	28.6%
	県	29,525	3,278	11.1%	1,050	32.0%



北栄町は県平均と比較すると特定保健指導の対象者が多い傾向にあり、反面、特定保健指導の終了者は少ない結果となっている。

《表 9》 がん検診受診率の推移（平成 25～29 年度）



※北栄町全体

【参考】県 29 年度	
胃がん	27.2
肺がん	29.0
大腸がん	30.3
子宮がん	24.7
乳がん	16.7

※鳥取県健康対策協議会より

《表 10》 死因の状況（平成 29 年度）

	北栄町	県	同規模	国
がん	48.2%	50.0%	46.6%	50.1%
心臓病	28.6%	24.6%	28.8%	26.5%
脳疾患	14.3%	17.4%	16.5%	15.2%
腎不全	4.5%	3.4%	3.7%	3.3%
糖尿病	2.7%	2.0%	2.0%	1.8%
自死	1.8%	2.5%	2.5%	3.1%

※ KDB(地域の全体像の把握)より

北栄町で実施している各種がん検診は過去 5 年間では概ね増加傾向にあり、死因のがんの割合も県平均と比較して低い割合となっている。しかし、死因のトップは変わらずがんであり、同規模市町村との比較では高い割合となっている。

《表 11》 介護保険における要介護・要支援認定者の疾病別有病状況

(平成 29 年度)

	北栄町	県	同規模	国
糖尿病	17.8%	23.5%	21.6%	22.2%
高血圧症	49.1%	51.8%	52.9%	50.8%
脂質異常症	26.4%	30.0%	27.3%	28.7%
心臓病	60.8%	61.8%	60.3%	57.8%
脳疾患	27.0%	29.2%	26.3%	24.9%
がん	8.8%	10.3%	10.2%	10.4%
筋・骨格	47.9%	52.6%	51.9%	50.4%
精神	41.0%	39.9%	36.7%	35.5%
認知症（再掲）	27.7%	27.0%	23.6%	22.4%
アルツハイマー病	24.9%	22.1%	19.3%	18.1%

※ KDB(地域の全体像の把握)より

《表 12》 北栄町国保 1 人あたり医療費等 (平成 26~29 年度)

	被保険者数 (直近月)	1 人あたり医療費 (1 月平均) (円)			30 万円以上 入院レセプト		生活習慣病		人工透析	
		医科		歯科	件数	率	保有者数	率	人数	率
		入院	外来							
平成 26 年度	4,676	10,668	13,214	1,444	731	1.3%	1,789	37.2%	8	0.2%
平成 27 年度	4,623	11,221	14,121	1,569	795	1.4%	1,787	37.6%	9	0.2%
平成 28 年度	4,502	10,838	13,833	1,497	739	1.3%	1,731	37.5%	10	0.2%
平成 29 年度	4,353	11,114	13,873	1,536	768	1.4%	1,723	38.0%	9	0.2%
平成 29 年度 (県)	124,593	12,720	15,741	1,891	24,580	1.6%	51,700	40.6%	385	0.3%

※ KDB(市区町村別データ)より

3 北栄町の抱える健康課題

これまで見てきたデータから、北栄町が抱える健康課題を次のとおり抽出しました。

番号	健康課題	課題の詳細
(1)	血圧が高い傾向にある	特定健診の結果から、受診者の50%以上が血圧の基準値を上回っている。特に60-74歳男性受診者の60%以上が、血圧が高い傾向にある。また年齢が高くなるにつれその比率は大きくなる。高血圧は、動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞など引き起こす可能性がある。
(2)	糖尿病重症化予防	特定健診の結果から、血糖の数値が基準を上回っている人が全体の約50%となっている。このような人はそのままの生活を続けると、将来的に糖尿病となっていく恐れがある。糖尿病は進行すると、網膜症・腎症・神経障害などの合併症をおこす可能性があり、進行すると人工透析等日常生活に大きな影響をもたらすため、重症化する前の予防が大切となる。
(3)	日常的な運動習慣がない	健診時の問診において、日常的な運動習慣がない人が県や国と比較しても多い。(1)、(2)の改善には食生活改善と併せて、日常的な運動習慣が必要となる。
(4)	特定健診受診率の伸び悩み	自分の体の状態を知るには特定健診などで定期的に検査し確認していくことが必要である。しかし、特定健診の受診率は、これまでいろいろな対策をとってきたが、目標とする受診率にはいたっていない。特に40-64歳男性の受診率が向上していない現状にある。
(5)	がん検診受診率の伸び悩み	町の死亡原因で1位となっているがんは早期発見、早期治療が望ましい。しかし、特定健診同様、町で実施しているがん検診もなかなか受診率が向上していかない。

4 健康課題解決に向けた取組み（第1期実施状況と評価、第2期取組み）

抽出した健康課題について、解決に向けて次のような取組みを行い、定めた指標に基づいて定期的に評価・見直しを行います

(1) 特定保健指導を中心とした高血圧・糖尿病対策																		
課題解決に向けた基本的な考え方	北栄町の特定健診結果において、約50%の人は血圧が基準値外にあり、50%近い人が血糖が基準値外にある。このような生活習慣病の発症リスクが高い人に対して、一人ひとりに合わせた生活習慣の見直しをサポートする。																	
評価指標	特定健診結果測定値における保健指導優先対象者の割合 （平成30年度末） ・血圧（収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上） 対受診者 30%以下 ・血糖（HbA1c 5.9%以上） 対受診者 15%以下	第1期評価 30年度末	特定健診結果測定値における保健指導優先対象者の割合 平成30年度保健指導優先対象者割合（H31.3.5時点） ・血圧（収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上） 対受診者 35.9% ・血糖（HbA1c 5.9%以上） 対受診者 20.7%															
解決に向けた具体的な取組み	実施状況		評価															
①保健指導の充実等 ・保健指導対象者に対して、訪問等で面談を行い、健診結果返却と合わせて食生活や運動習慣等の生活習慣改善のための指導を行います。 ・健診結果で医療受診が必要な人に紹介状を発行し、適正な医療受診につなげる取組みを継続します。	・特定保健指導の実施（H30はH31.3.5現在） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>終了者</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>182人</td> <td>52人</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>173人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> ・健診結果で要医療判定の人には、紹介状を発行し医療機関受診につなげた。			対象者	終了者	実施率	H29	182人	52人	28.6%	H30	173人	-	-	保健指導実施率は、H29は前年度より上昇。H30も上昇の見込み。指導は行うものの個人の行動変容が十分改善につながらない場合もあり、指導者のスキルアップが必要。			
	対象者	終了者	実施率															
H29	182人	52人	28.6%															
H30	173人	-	-															
②運動習慣の定着 ・気軽に継続できる運動を体験してもらい、その後の運動習慣定着を目指し「運動教室」を開催します。 ・運動をテーマとした「健康フェスタ」を開催し、	・運動教室の実施 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>ヨガ、バランスボール、体幹トレーニング</td> <td>8回</td> <td>実70人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>ヨガ</td> <td>3回</td> <td>実42人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングマシン体験</td> <td>3回</td> <td>実21人</td> </tr> </tbody> </table>			内容	回数	参加者	H29	ヨガ、バランスボール、体幹トレーニング	8回	実70人	H30	ヨガ	3回	実42人	トレーニングマシン体験	3回	実21人	運動教室、健康フェスタを開催したことで、運動に対する意識が高まり、運動習慣の継続につながった。 集団での運動は、スポーツクラ
	内容	回数	参加者															
H29	ヨガ、バランスボール、体幹トレーニング	8回	実70人															
H30	ヨガ	3回	実42人															
	トレーニングマシン体験	3回	実21人															

<p>住民の意識改革に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町が主催する運動教室以外でも、運動ができるような機会について情報提供します。 ・ プラス 1,000 歩運動の実施を検討します。 	<p>教室参加後、ヨガ教室参加者は自主グループをつくり、活動を続けている。トレーニングマシン体験参加者は、進呈した回数券を使って運動を継続している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康フェスタ 平成 29 年 9 月 10 日開催 テーマ：今からできるあなたもできる 運動で健康づくり 内容：基調講演、実践報告、フロアでの各種体験・測定 参加者：270 人 ・ プラス 1,000 歩運動の実施について、十分な検討はしていないが、てくてくウォークや元旦マラソンなどを健康ポイントラリー対象に組み入れ、ウォーキングに触れるきっかけとした。また、ポイント対象に自主的な取り組みとして毎日のウォーキングを取り入れ習慣化につなげる。 	<p>ブが主になり各種教室を開催しているので、連携し紹介していく。</p> <p>個人での運動（ウォーキング等）についても、継続できるようなサポート体制を作る。</p>																																				
<p>③健康教室の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食に関する正しい知識を身につけ、日常生活に活かしてもらうため「食べ方講座」を開催します。 ・ 病気に関する知識とその予防法を理解し、実践できるよう自治会において「いきいき健康講座」を実施します。 ・ 生活習慣病に関する正しい知識と予防法等を学び、生活習慣の振り返りと維持・改善につなげるため「生活習慣病予防講演会」を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ方講座の開催 <table border="1" data-bbox="857 726 1608 863"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>栄養士による講演、実食</td> <td>1 回</td> <td>22 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>栄養士による講演、実食</td> <td>1 回</td> <td>24 人</td> </tr> </tbody> </table> ・ いきいき健康講座の開催（まちの保健室を含む） <table border="1" data-bbox="857 954 1608 1177"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>医師、保健師、栄養士による講演</td> <td>40 回</td> <td>779 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>医師、歯科医師、理学療法士、保健師、栄養士による講演</td> <td>44 回</td> <td>720 人</td> </tr> </tbody> </table> ・ 生活習慣病予防講演会 <table border="1" data-bbox="857 1297 1608 1476"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>健康フェスタと兼ねて実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>高血圧に関する医師による講演、試食・展示等</td> <td>1 回</td> <td>47 人</td> </tr> </tbody> </table> 		内容	回数	参加者	H29	栄養士による講演、実食	1 回	22 人	H30	栄養士による講演、実食	1 回	24 人		内容	回数	参加者	H29	医師、保健師、栄養士による講演	40 回	779 人	H30	医師、歯科医師、理学療法士、保健師、栄養士による講演	44 回	720 人		内容	回数	参加者	H29	健康フェスタと兼ねて実施			H30	高血圧に関する医師による講演、試食・展示等	1 回	47 人	<p>参加者は、生活習慣の振り返りや改善のよいきっかけになっていると考えるが、参加者の固定化も見られる。新たな参加者の増加につながるような内容や周知方法を検討する。</p> <p>【H30】一般の参加者の他、健診結果から対象者を選定し、個別通知することでハイリスク者へアプローチした。今後参加者に血圧計測習慣の確認を個別に行う。 (H31. 1. 18 現在)</p>
	内容	回数	参加者																																			
H29	栄養士による講演、実食	1 回	22 人																																			
H30	栄養士による講演、実食	1 回	24 人																																			
	内容	回数	参加者																																			
H29	医師、保健師、栄養士による講演	40 回	779 人																																			
H30	医師、歯科医師、理学療法士、保健師、栄養士による講演	44 回	720 人																																			
	内容	回数	参加者																																			
H29	健康フェスタと兼ねて実施																																					
H30	高血圧に関する医師による講演、試食・展示等	1 回	47 人																																			

	H30 は H30 健診結果から、血圧高値者 131 人に個別通知。このうち 17 人が参加。事後連絡により全員が血圧測定の実験化、減塩等の食習慣、運動習慣を意識して生活していることを確認。	
④その他 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での血圧測定を推進するため、血圧計の貸し出しを行います。 ・町報やホームページを活用し、健康に関する情報提供を継続します。また、若い世代がより簡単に情報収集できるよう SNS を活用した情報提供を行います。 ・適正飲酒、禁煙に関する保健指導も継続して行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セット健診会場、保健指導の際に、血圧計の貸出を実施。 ・健康ポイントラリー対象（自主的な取り組み）として家庭での血圧測定を推進。 ・町報やホームページで、健康に関する情報を掲載。 ・適正飲酒、禁煙について保健指導、健康講座や町報等で啓発を継続している。 ・自治会公民館の禁煙を推進し、全自治会で禁煙となった。住民への周知のために県の禁煙応援施設の登録を推進している。 	<p>健診会場や健康講座の際に、家庭血圧測定を推進しており、家庭血圧測定を実施している人の割合は増加した。（H26 26.7%→H29 29.1%）</p> <p>適正飲酒についても機会を捉えて啓発はしているが、毎日飲酒者は県や国に比べて高く、休肝日の重要性、適量飲酒量等、保健指導の際にはより個別指導に力を入れる必要がある。</p>

今後の取り組み

①保健指導の充実等

- ・保健指導対象者に対して、訪問等で面談を行い、健診結果返却と合わせて食生活や運動習慣等の生活習慣改善のための指導を行います。
- ・健診結果で医療受診が必要な人に紹介状を発行し、適正な医療受診につなげる取り組みを継続します。
- ・保健指導従事者は、より積極的に研修に参加し、指導技術の向上に努めます。（新規）
- ・保健指導の外部委託を導入し、対象者がより保健指導を受けやすい体制を整えます。（新規）

②運動習慣の定着

- ・気軽に継続できる運動を体験してもらい、その後の運動習慣定着を目指し「運動教室」を開催します。
- ・町が主催する運動教室以外にも、運動ができるような機会について情報提供します。
- ・個人での運動が継続できるような、新たな取り組みを実施します。（新規）

③健康教室の充実

- ・食に関する正しい知識を身につけ、日常生活に活かしてもらうため「食べ方講座」を開催します。
- ・病気に関する知識とその予防法を理解し、実践できるよう自治会において「いきいき健康講座」を実施します。
- ・生活習慣病に関する正しい知識と予防法等を学び、生活習慣の振り返りと維持・改善につなげるため「生活習慣病予防講演会」を開催します。

④その他

- ・家庭での血圧測定を推進するため、血圧計の貸し出しを行います。
- ・町報やホームページを活用し、健康に関する情報提供を継続します。また、若い世代がより簡単に情報収集できるよう SNS を活用した情報提供を行います。(運動、食事、野菜摂取等)
- ・適正飲酒、禁煙に関する保健指導も継続して行います。

評価指標

●特定健診結果

- ・血圧（収縮期血圧 140mmHg 以上または拡張期血圧 90mmHg 以上）

対受診者	2020 年度末	34.0%
	2023 年度末	32.0%
- ・血糖（HbA1c 5.9%以上）

対受診者	2020 年度末	19.5%
	2023 年度末	18.0%

●特定保健指導実施率

- | | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| 2020 年度末 | 30.0% | 【実施計画 | 30.0% |
| 2023 年度末 | 60.0% | 【実施計画 | 60.0% |

(2) 糖尿病重症化対策 <H29 新規事業>

課題解決に向けた基本的な考え方	健診結果で糖尿病が重症化するリスクの高い人について、適切な受診勧奨や保健指導を行うことで、腎不全、人工透析への移行を防ぐ。		
評価指標	特定健診結果測定値（平成 30 年度末） <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者（HbA1c 6.5 以上又は eGFR 60 未満）の減少（平成 27 年度 163 人） ・ハイリスク者の医療機関未受診者のうち、50%が受診につながる。 	第 1 期評価 30 年度末	特定健診結果測定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者（HbA1c6.5%以上又は eGFR60 未満） H29 234 人 H30 229 人 ・ハイリスク者の医療機関未受診者（13 人）のうち、23.1%が受診につながった。
解決に向けた具体的な取組み	実施状況		評価
・ハイリスク者で医療機関未受診者に対して電話や訪問等で受診勧奨を行い、医療機関受診へつ	年間を通してヘルスアップ教室開催。 内容： ①医師講演会 ②栄養士食事教室 ③運動教室		対象者へ受診勧奨・事業案内を行い、糖尿病性腎症重症化予防の

なげます。 ・ハイリスク者に対して、医師による講演や管理栄養士による食事指導、運動教室の紹介を行い、継続的に支援します。	④血液検査 ⑤保健指導						意識づけの機会となった。 対象者の自己管理能力を高め人工透析への導入を阻止・延長することでQOLの維持・向上し、また医療費の適正化を図るためにも引き続き事業実施する必要がある。
	参加人数 (H30はH31.3.5現在)						
	①	②	③	④	⑤	延べ	
H29	25人	16人	8人	11人	11人	71人	
H30	21人	23人	11人	8人			
・H29とH30健診結果の比較 HbA1c：改善6人、維持18人、悪化1人 eGFR：改善2人、維持16人、悪化4人							

今後の取り組み

- ・ハイリスク者で医療機関未受診者に対して電話や訪問等で受診勧奨を行い、医療機関受診へつなげます。
- ・ハイリスク者に対して、医師による講演や管理栄養士による食事指導、運動教室の紹介を行い、継続的に支援します。
- ・ハイリスク者のなかでも重症度によって、外部委託をすることで保健指導を充実させます。(新規)

評価指標

- 医療機関未受診者のうち、医療機関を受診した人
 - 2020年度末 40.0%
 - 2023年度末 50.0%
- 未受診者への保健指導実施率
 - 2020年度末 40.0%
 - 2023年度末 50.0%
- 教室参加後の生活改善または検査値の維持改善
 - 生活改善があった人 2020年末 20.0%
 - 2023年末 30.0%
 - 検査値が維持改善した人 2020年末 75.0%
 - 2023年末 80.0%

(3) 特定健診・がん検診受診率向上

課題解決に向けた基本的な考え方
 これまで健診を受けたことがない人や通院中の対象者にも、特定健診やがん検診の必要性を啓発し受診勧奨を行い、目標受診率達成を目指す。また、受診しやすい環境づくり、受診したくなるような環境づくりに取り組む。

評価指標	特定健診受診率（毎年） ・平成29年度末 40% ・平成30年度末 45% 各がん検診受診率（毎年） ・前年度+2%	第1期評価 30年度末	特定健診受診率 ・平成29年度 39.3% ・平成30年度 38.1% (H31.3.5現在) がん検診受診率 ()内は前年度比較																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30 (H31.3.5現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>32.6% (+1.4%)</td> <td>28.4%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>40.2% (+0.5%)</td> <td>38.3%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>47.7% (+0.1%)</td> <td>47.8%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td>34.9% (+1.3%)</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>20.8% (-0.6%)</td> <td>19.4%</td> </tr> </tbody> </table>			H29	H30 (H31.3.5現在)	胃がん	32.6% (+1.4%)	28.4%	肺がん	40.2% (+0.5%)	38.3%	大腸がん	47.7% (+0.1%)	47.8%	子宮がん	34.9% (+1.3%)	31.3%	乳がん	20.8% (-0.6%)
	H29	H30 (H31.3.5現在)																	
胃がん	32.6% (+1.4%)	28.4%																	
肺がん	40.2% (+0.5%)	38.3%																	
大腸がん	47.7% (+0.1%)	47.8%																	
子宮がん	34.9% (+1.3%)	31.3%																	
乳がん	20.8% (-0.6%)	19.4%																	

解決に向けた具体的な取組み	実施状況	評価									
①受診しやすい環境づくり ・対象者には受診券を発行し、受診日をわかりやすく案内します。 ・集団検診では特定健診とがん検診の同日実施、休日健診の実施を継続します。 ・集団検診では、受診日を指定し受診人数を調整することで待ち時間の縮小を図ります。 ・40、45、50、55、61、65歳に人間ドック受診の助成をします。(H29年度から65歳を追加します。)	・H30から各種健診受診券を集合型に変更。手引きを同封。 ・特定・基本健診とがん検診をセット健診として同日実施。休日健診は、女性のがん検診を加えたフルセット健診を実施。また、補足健診日を設け未受診者へ受診勧奨実施。 ・待ち時間縮小のために、受診日を指定し人数調整実施。H30は健診日を増やし、1回の受診人数を減らした。 ・人間ドック助成実施。H29は対象年齢に65歳を追加し、H30は受診可能な医療機関を増やして(7→26医療機関)、各自が予約する方法へと変更した。	フルセット健診の回数増については、会場や人数調整の状況をふまえて今後検討する。 人間ドックは、医療機関を増やしたことで、各自が都合の良い日程で受診できるようになったことで、受診しやすい環境づくりができた。しかし受診者数が減少しているため、申込後の受診勧奨の強化が必要。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申込者</th> <th>受診者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>356人</td> <td>331人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>345人</td> <td>235人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H30はH31.3.5現在)</p>		申込者	受診者	H29	356人	331人	H30	345人	235人	
	申込者	受診者									
H29	356人	331人									
H30	345人	235人									

<p>②受診したくなるような環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨密度測定などの町独自のオプション健診を検討します。 ・魅力的な商品が当たる健康ポイントラリーを実施し、受診につながるきっかけづくりをします。 ・特定健診未受診理由の約6割は「普段から病院に行っているから必要ない」と思っているため、通院中でも受診が必要であることを周知します。また、かかりつけ医から受診をすすめてもらえるよう関係機関との連携体制を強化します。また、通院中でも特定健診を受けることの重要性について、広く周知します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セット健診会場で、希望者に無料で骨密度測定を実施。結果を返却とともに、保健指導を行った。 ・ミニ体力測定の実施（休日健診・補足健診） ・健康ポイントラリーの実施 賞品に町内で生産される商品を追加した他、対象事業を増やしたり、自主的な取り組みを対象とすることで、参加しやすい環境を整備した。 <table border="1" data-bbox="853 459 1205 555"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>応募数</td> <td>377</td> <td>472</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・定期通院者の特定健診受診勧奨 かかりつけ医から受診を勧めてもらうよう、町内医師連絡会で依頼した。また、町報や未受診者勧奨の際に、通院中でも特定健診を受けることの重要性について記載し、周知した。 		H29	H30	応募数	377	472	<p>健診会場での骨密度測定は、受診者の約6割が測定している。骨密度測定希望で健診も受けるとの声もあり、効果があったと考える。</p> <p>健康ポイントラリーの実施で、健康づくり事業へ参加するきっかけとなった。</p> <p>定期通院者については、引き続き医療機関へ依頼し、健診受診を勧めてもらう。また、H31から医療機関からのデータ提供も活用していく。</p>
	H29	H30						
応募数	377	472						
<p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未受診者に対して受診勧奨を行います。 ・町報や町放送、ホームページ等で受診案内を行います。また若い世代がより簡単に情報収集できるようにSNSを活用した情報提供を行います。 ・地域（自治会や健康サポーター、食生活改善推進員等）と連携した取り組みを行います。 ・働き世代の多く加入する協会けんぽ鳥取支部と連携して、受診勧奨や広報等を行います。 ・がん検診について、特定の年齢の方に無料クーポンを発行します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・がん検診未受診者へ勧奨通知を発送（年2～3回） H30は、外部委託にて未受診者の傾向を分析し対象者に合わせた受診勧奨通知を発送。また、集団検診受診予定で未受診だった人に対して、電話による受診勧奨を実施。 ・町報、町放送等での受診案内を定期的実施 ・健康推進員を中心に自治会での健診受診の呼びかけをしている。健康サポーターも、朗読劇を通して健診の大切さを伝える活動をしている。 ・協会けんぽと共同でチラシを作成し、受診勧奨に活用。 ・特定年齢に対するがん検診の無料化 胃がん検診：41. 46. 51. 56. 61 歳（H29利用率：11.7%） 子宮がん検診：21. 26. 31. 36 歳（H29利用率：15.1%） 乳がん検診：40 歳（H29利用率：34.3%） ・H30は、特定健診自己負担金を軽減した。（1,200円→500円） ・H27年から自治会表彰を実施。特定健診と大腸がん検診の受診率を合わせて自治会受診率とし、受診率の高い自治会や受診率の伸びが大きい自治会を表彰した。 	<p>特定健診受診率は年々上昇し、実施計画の平成30年度目標である40%を達成する見込み。がん検診は県と比較しても高い受診率を保っている。</p> <p>表彰自治会が固定化する傾向にあること、検診が限られ自治会としての取り組みが難しいことから自治会表彰は中止し、他の受診率向上の取り組みを強化する。</p>						

今後の取り組み

①受診しやすい環境づくり

- ・対象者には受診券を発行し、受診日をわかりやすく案内します。
- ・集団検診では特定健診とがん検診の同日実施、休日健診の実施を継続します。
- ・集団検診では、受診日を指定し受診人数を調整することで待ち時間の縮小を図ります。
- ・40、45、50、55、61、65歳に人間ドック受診の助成をします。
- ・特定年齢に対して、がん検診を無料化します。
- ・19-39歳の基本健診は受けやすいよう医療機関委託へ拡大し、特定健診年齢になっても健診を受けるよう年1回の健診を習慣化させます。(新規)

②受診したくなるような環境づくり

- ・セット健診会場で骨密度測定などの町独自の検査を実施します。
- ・魅力的な商品が当たる健康ポイントラリーを実施し、受診につながるきっかけづくりをします。
- ・通院中でも特定健診の受診が必要であることを周知し、かかりつけ医から受診をすすめてもらえるよう関係機関との連携体制を強化します。

③その他

- ・未受診者に対して受診勧奨を行います。
- ・町報や町放送、ホームページ等で受診案内を行います。また若い世代がより簡単に情報収集できるよう SNS を活用した情報提供を行います。
- ・地域（自治会や健康サポーター、食生活改善推進員等）と連携した取り組みを行います。
- ・働き世代の多く加入する協会けんぽ鳥取支部と連携して、受診勧奨や広報等を行います。
- ・がん検診について、特定の年齢の方に無料クーポンを発行します。
- ・通院中で特定健診未受診者の検査データ提供を医療機関に依頼します。(新規)

評価指標

●特定健診受診率

- ・2020年度末 50%【実施計画 50%】
- ・2023年度末 60%【実施計画 60%】

●各がん検診受診率

	2020年度末	2023年度末
胃がん	34.0%	35.5%
肺がん	41.5%	43.0%
大腸がん	48.0%	48.3%
子宮がん	36.5%	38.0%
乳がん	21.0%	21.2%

(4) 地域と連携した健康づくり事業の推進

課題解決に向けた基本的な考え方

健康づくりは、行政だけではなく、住民一人ひとりが自身の問題としてとらえ健康意識を高めることが基本となる。また、自治会長、健康推進員、食生活改善推進員、健康サポーター等との連携・協働を図りながら、健康課題の解決に向けて取り組む。

解決に向けた具体的な取組み

- ・健康ポイントラリーを実施し、健診以外の健康づくり事業への参加も促します。
 - ・自治会長、健康推進員、食生活改善推進員を対象に健康づくり研修会を開催します。
 - ・食生活改善推進員を対象に、健康づくりや食育推進に関する専門的知識を深める機会として、学習会を開催します。また、食生活改善推進員と連携しながら、地域での伝達講習会、食育講習等を実施します。
 - ・健康サポーターが活動しやすい環境を整えます。またサポーターの活動を町民に紹介し、会員増加を目指します。
- <H29 新規事業>
- ・住民自身が健康課題とその解決に向けた取り組みに関われるよう「まちの保健室」を開催します。
- <H30 新規事業>
- ・食生活改善推進員と行政が連携し、イベント等で野菜摂取の啓発を行います。

実施状況

- ・自治会単位で開催される健康講座等を健康ポイントラリー対象事業とした。
- ・合同研修会（自治会長、健康推進員、食生活改善推進員対象）を年1回開催。健康に関する講演、健診受診の呼びかけのお願い等をしている。

・食生活改善推進員学習会の開催(H30はH31.1.15現在)

	内容	回数	参加者
H29	合同研修会、講話、調理実習	8回	169人
H30	合同研修会、講話、調理実習	7回	150人

・食生活改善推進員による地域での伝達講習会の開催と塩分測定の実施(H30はH31.3.5現在)

	回数	延べ参加人数	塩分測定延べ軒数
H29	36回	714人	516軒
H30	37回	612人	302軒

- ・食生活改善推進員養成講座(H30実施)
新規会員 20人を養成
- ・食生活改善推進員と一緒に、野菜摂取について啓発を実施。(H30.3回)
- ・健康サポーター
現在約20名。主な活動は運動教室のボランティア、健診受診啓発のための朗読劇、自治会や企業での出前健康講座を実施。健康フェスタなど機会をとらえて活動発表や啓発を実施。活動をTCCで町民へ紹介し会員募集をするが、新規会員なし。

評価

健診、健康講座、自主的取り組み等健康づくりに関する健康ポイントとしたことで参加しやすくなり、健康意識を高めることにつながった。

食生活改善推進員は、学習会で健康づくりや食育推進に関する知識を深め、学んだことを本人や家族、地域の健康づくりに役立てた。また汁物の塩分測定実施を通して減塩の普及・野菜摂取の啓発に努めているが、町民アンケートから減塩で気を付けている割合が低下しており、更なる啓発が必要。

健康サポーターは企業や自治会の出前講座など積極的に活動している。会員の増加が必要。

	<p>・まちの保健室の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="853 197 943 240"></th> <th data-bbox="943 197 1397 240">内容</th> <th data-bbox="1397 197 1509 240">回数</th> <th data-bbox="1509 197 1639 240">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="853 240 943 331">H29</td> <td data-bbox="943 240 1397 331">各種測定、健康相談、ミニ講話、意見交換等</td> <td data-bbox="1397 240 1509 331">2回</td> <td data-bbox="1509 240 1639 331">延92人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="853 331 943 422">H30</td> <td data-bbox="943 331 1397 422">各種測定、健康相談、ミニ講話、試食等</td> <td data-bbox="1397 331 1509 422">2回</td> <td data-bbox="1509 331 1639 422">56人</td> </tr> </tbody> </table>		内容	回数	参加者	H29	各種測定、健康相談、ミニ講話、意見交換等	2回	延92人	H30	各種測定、健康相談、ミニ講話、試食等	2回	56人	<p>まちの保健室では、自治会と大学、行政が協議を重ね、地区の状況や要望に合わせた内容を展開できた。また、自治会役員や食推という地域の団体と連携を図ることができた。</p>
	内容	回数	参加者											
H29	各種測定、健康相談、ミニ講話、意見交換等	2回	延92人											
H30	各種測定、健康相談、ミニ講話、試食等	2回	56人											
<p>今後の取り組み</p>														
<ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイントラリーを実施し、健診以外の健康づくり事業への参加を促します。 ・自治会長、健康推進員、食生活改善推進員を対象に健康づくり研修会を開催します。 ・食生活改善推進員を対象に、健康づくりや食育推進に関する専門的知識を深める機会として、学習会を開催します。また、食生活改善推進員と連携しながら、地域での伝達講習会、食育講習、野菜摂取等を実施します。 ・健康サポーターが活動しやすい環境を整えます。またサポーターの活動を町民に紹介し、会員増加を目指します。 ・住民自身が健康課題とその解決に向けた取り組みに関われるよう「まちの保健室」を開催します。 														

5 その他

① 内容の見直し

この計画は、PDCAサイクルにより、計画期間内においても必要な見直しを行います。

② 計画の公表・周知

この計画の公表及び周知については、町のホームページなど、あらゆる機会を通じて広く行います。

③ 個人情報の保護

個人情報の保護に関する法律、同法に基づく各種ガイドライン、北栄町個人情報保護条例及び情報セキュリティポリシーに基づく管理の徹底を図り、特定健診、特定保健指導その他健康増進事業に係る個人情報の適切な管理を行います。

④ 計画推進体制

保健事業の構築、検証、評価等は、健康推進課・福祉課ほか関係機関で連携して取り組みます。

新規の保健事業を行う場合には、必要に応じて医師会等の関係機関と事前に協議します。

町民主体の健康づくりを推進するため、保健事業の実施については健康推進員や食生活改善推進員ほか関係団体と連携を図ります。

本計画の見直し等については、北栄町国民健康保険事業の運営に関する協議会へ報告を行うとともに、必要に応じて同会の助言を求めます。